

東濃地科学センターの状況

【土岐地区】

1. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)：メンテナンス中(2021/7/12～)
2. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
3. その他
 - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(鉱物が光る？発光現象をつかった年代測定)」を開催予定(6/25)
 - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(小さな鉱物から山の成り立ちを解き明かす)」を開催予定(7/23)
 - ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ(地下のことがまるわかり！？地中の診断結果を100倍おもしろく見る方法)」を開催予定(8/27)
 - ・ふじのくに地球環境史ミュージアムにて研究成果「日本各地の「富士」の地形が語る大地の動き」のトピックス展示を開始(6/7～8/7)

【瑞浪地区】

1. 地下水の環境モニタリング調査
 - [瑞浪用地]
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI17-1、09MI19、09MI20、09MI21、10MI23、10MI26、12MI32、12MI33、13MI39～41号孔)における地下水水圧観測を継続
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI20、09MI21、10MI26、12MI32、12MI33号孔)、換気立坑(深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m)および深度500m研究アクセス北坑道、深度500m予備ステージ、冠水坑道における地下水水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-1～4、05ME06号孔、MIZ-1号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-2、4号孔)を用いた地下水水質観測を継続
 - [正馬様用地]
 - ・地表からのボーリング孔(AN-1、MIU-3、4号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - [広域地下水流動研究対象地域]
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2、15号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2号孔)を用いた地下水水質観測を継続
2. 瑞浪用地周辺の環境影響調査
 - ・河川水の水質測定及び流量観測を継続(狭間川)
 - ・水位観測を継続(瑞浪用地周辺井戸)
3. その他
 - ・なし